

3つのポリシー策定の基本方針

順天堂大学

順天堂大学は、開学(1838年)以来、学是「仁」(人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」と理念「不断前進」(現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢)に則り、「三無主義」(出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め、活躍の機会を与える)の学風を掲げ、8学部4研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラルアーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めています。

本学に学び、卒業時・修了時に、何を身に付けたか、何ができるようになったかという質保証の観点から、3つのポリシーでは、以下のことを明確にしています。全学の方針を大学全体の視点で策定し、学位プログラム(学部、研究科)単位で詳細を明示しています。

1. ディプロマ・ポリシーで明確にしていること

卒業・修了に際し、当該課程における学位を授与する要件として、学生が身に付けているべき資質・能力の目標を示します。

2. カリキュラム・ポリシーで明確にしていること

ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を学生が効果的に身に付けられるように、どのようにカリキュラムを編成・実施し、学修成果をどのように評価するのかを示します。

3. アドミッション・ポリシーで明確にしていること

カリキュラムを通して、本学の卒業生・修了生となり得る意欲・資質を有する学生を入学者として得るため、求める学生像、入学に際し求められる学力の水準、入学者選抜などの方針を示します。